

## 黒部川上流域における情報通信網の整備

砂防施設の整備は山深い黒部渓谷で実施されており、災害時や事故等が発生した場合には、防災上の不備が危惧され、陸の孤島となることがありました。

そこで、防災体制の確立を図るため、光ファイバーネットワークを整備し、雨量・水位等のデータやCCTVカメラによる土石流監視等の防災情報を収集して、iモードにより配信・提供するシステムを整備しました。(iモードの使用は現在のところ榎平駅周辺のみ使用可能です)

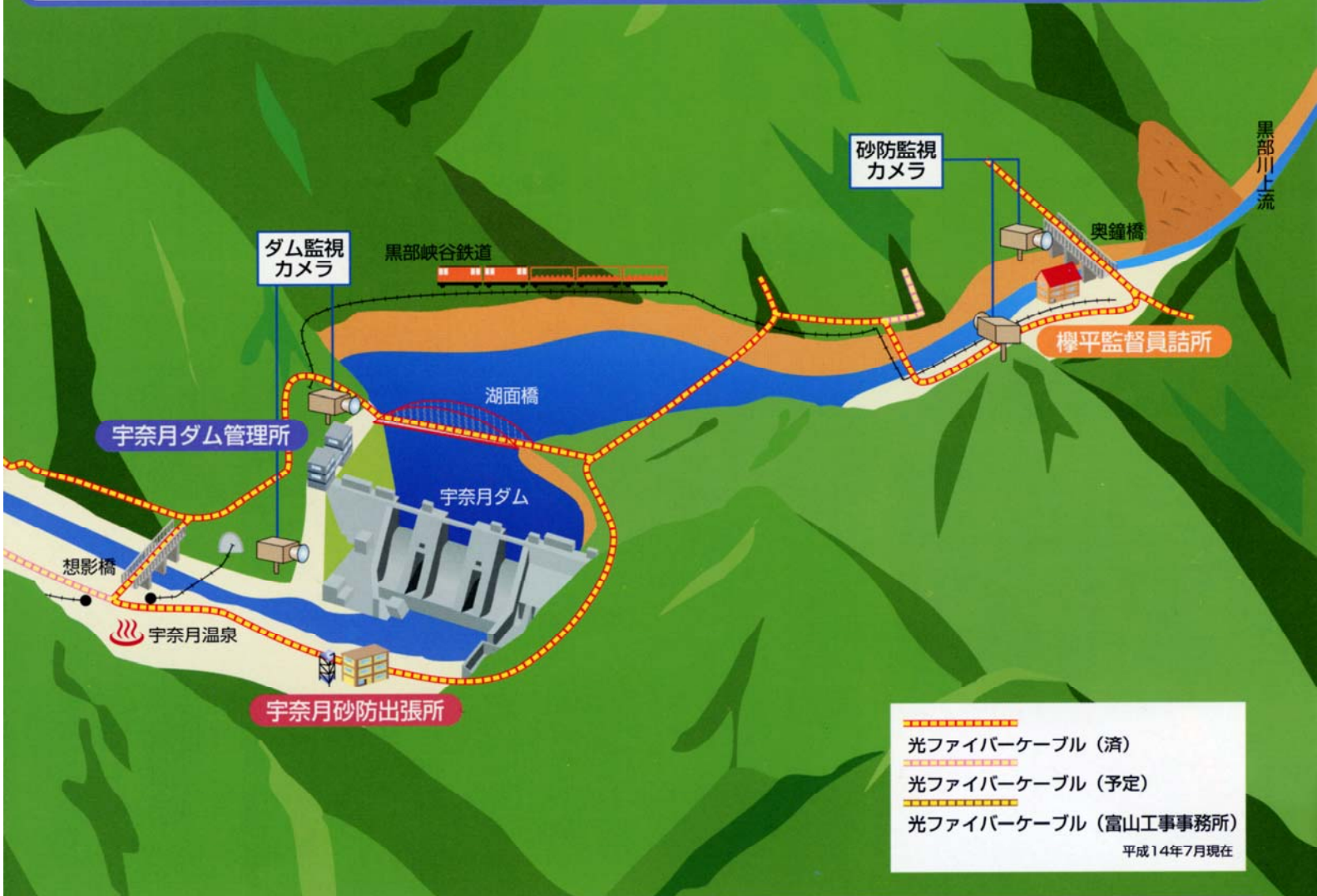
今後、防災情報ステーションを整備し、これからの防災情報を一括管理し、情報発信基地としていく予定にしています。



“まさか!?”の前の  
<http://www.river.go.jp>  
<http://i.river.go.jp>  
 「川の情報」を  
 リアルタイムで公開中!!



防災情報ステーション完成予想図



- 光ファイバーケーブル (済)
  - 光ファイバーケーブル (予定)
  - 光ファイバーケーブル (富山工事事務所)
- 平成14年7月現在

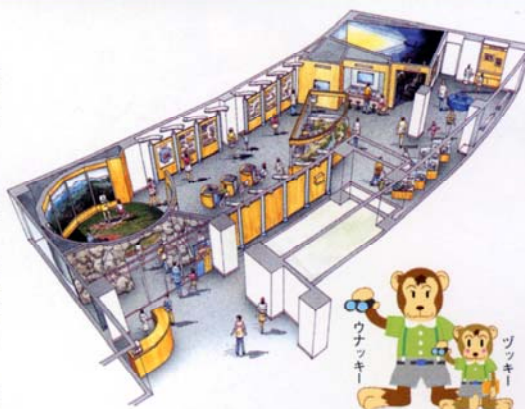
## 宇奈月ダム事業におけるITの活用

宇奈月ダムは洪水を防ぎ下流域の安全を守るとともに、豊富な水を水道水や発電に生かす多目的ダムとして建設されました。

ダム操作室では、上流域に設置された雨量観測所や水位・流量観測所のデータを瞬時に収集し、ダムに流れ込んでくる水量を把握し、ダムからの放流開始などの予測を行っています。

また、これらの情報は光ファイバーネットワークにより流域市町へ情報を提供しているとともに、宇奈月ダムの情報資料館である大夢来館やインターネットのホームページにより一般の方へ情報を公開しています。

さらには、観光地宇奈月温泉の入り口である内山地区に情報表示板を設置し、宇奈月ダム及び上流域の情報を一般の方に提供しています。



大夢来館 (だむこんかん)

宇奈月ダムのことが学べる情報資料館です。



放流情報版



ダム操作室